

子ども達の豊か
な成長・力の
ために皆で力を
合わせましょう！

大阪市の教育問題

生徒の声「私たちは実験台じゃない！」 「振り回さないで！」

大阪府に
広げない

中3生 大阪市統一テストの点数上位6%は 高校入試の内申「5」

大阪市の中学生を1番から2万2000番まで並べ競争を激化

大阪市教育委員会（大森不二雄委員長）は、「真の絶対評価」と言っています。保護者からは「究極の相対評価」との声があがっています。（中学生の声、次ページを参照）

「真の絶対評価」
|| 市教育長自賛
「究極の相対評価」
|| 保護者から批判

大阪府下で大阪市の中学生だけに10月15日行われた大阪市統一テスト。その点数が大阪市の中学生のうち、得点上位6%に入れば、1320人には、これまでの成績や、学校での勉強に関係なく、高校入試の内申は「5」となります。
(資料 下)
平成28年度大阪府公立高等学校入学選抜における調査書に記載する評定等に関する方針（改定版）平成27年4月13日

大阪の教育が異常な事態であるという事は、全国の教育関係者が共通に語っているところですが、大学で教職志望の学生を指導している方によると、大阪出身の学生が、大阪を含む複数府県の教員採用選考に合格したら、多くが「どうしようか」と相談にくるとのこと。今の大阪での教育状況（教育政策・賃金面等）から地元大阪で教員の道を選ばない学生が増えていきます。

さらに小学校3年生から学力テスト
「大阪市教育委員会は27日、市立小学校の3年以上を対象とした独自の学力テストの実施を検討する方針を示した。4月にあつた全国学力調査（学テ）の小学6年生の結果がふるわなかったことを受け、早期に学力状況を把握して学習指導につなげるのが目的という。」
(朝日新聞10月28日)

3. 上記1の大阪市統一テストの結果、各教科ごとに、全市の得点分布において上位6%に入る生徒には、当該教科の評定として必ず評点「5」を与えるものとする。同様に、全市の得点分布において上位18%に入る生徒には、必ず評点「4」以上を与えるものとする。さらに、全市の得点分布において上位39%に入る生徒には、必ず評点「3」以上を与えるものとする。



生徒「実験台じゃない」

5.8.3

「私たちは実験台じゃない」。大阪市の中学3年の女子生徒(14)は4月初めにふってわいた学テ騒動に怒る。

府教委は4月10日に内申評価に学テを利用する方針を決定。学テ実施を11日後に控え「大事なことがなん

と驚いた。直後に学校で数学と国語の学テの過去問を解かされた。理科は出題範囲の授業が終わらず、急ぎよプリントが配られ駆け足で教わった。「僕もおかしいと思うんだけど」と先生も戸惑うドタバタぶりだ。今年度から絶対評価から絶対評価に変わり、先生か

ら「昨年までの蓄積に基づく進路指導ができず、手探りです」と言われ、「たいへんな時に受験するんだな」と思った。それに学テ騒動が加わり、さらに文科省が待ったをかけ、不安は募るばかりだ。「受験の公平性とか学力調査の趣旨とか言われているけど、国や教育委員会はまず受験生の気持ちに立って考えてほしい」(石原孝、長野佑介)

市教委

二中学学習会中止

原因を反対運動に責任転嫁

責任は市教委に

前号でお知らせした10月31日に予定していた第二中学校での「国際理解に関する土曜学習会」。現職国会議員で来年参議院選挙の公認候補である防衛大臣政務官による学習会計画。10月28日に中止の手紙を豊中市教委生涯学習課長名で生徒や保護者に配布しました。

その文面には「事情により文部科学省と相談の上、中止」とあるだけ。一方、市議会議員宛てに同日、「学習会」についてお知らせが送られました。

そこには、中止の理由として「開催への反対活動がおこなわれ、当日の抗議行動が行われる可能性があり、参加を希望する生徒の皆さんが静謐な環境で学習を行うことが困難となる恐れもある」と説明。

中止の原因が、反対の活動にあるとしています。

「内申書革命」急ぎすぎでは

中学生 三上 希実

(大阪府 14)

私は中3の受験生です。

大阪府の公立高校入試制度が大きく変わると聞き、不安です。

将来の夢をかなえるため専門学科のある高校を目指しています。中1の頃から対策として内申書の評価が他より高かった音楽や美術などの副教科にも力を入れてきました。しかし今回の受験から国社数理英の5教科と同じ評価になってしまいます。実技以外の試験科目も国数英の3教科から5教科に増えました。また全国学力調査の学校

別成績の結果を内申点評価に活用するということが実施日の10日ほど前に発表されました。さらに大阪市の独自テストの結果も加えられると新聞で読みました。学校の先生も明確な情報を得られていないと言っていました。

なぜこんなに急に制度を変えられるのですか。どうなるか分からないというだけで不安です。これだけ私たちが振り回しておいて「内申書革命だ」って、どういふことですか。一生を決める大切な受験です。教育委員会の方々は受験生の気持ちを一番に考えてください。

付け加えるなら、実施が予定されていた10月31日。この石川博崇議員は文科省から照会された10月1日には防衛大臣政務官という「行政」の立場でもありました。10月7日の内閣改造によって、防衛大臣政務官でなくなっています。10月31日は、一国会議員という立場の人物です。

実施していれば、特定政党に所属する一人の国会議員を学校主催の学習会講師として招くという問題を市教委としてどう説明するのでしょうか。市教委としてその責任が問われます。